

(一) 宣 言

各國資本主義は恐慌の奴隷をせき止めんと努力焦燥し乍ら日
 一日と泥沼に瀰み各國の對立は世界大戦前よりも擴張せられ
 勞働者農民の生活窮乏に拍車を掛け資本家地主に對する反對
 闘争は今や各國を強く強くゆり動かしてゐる、日本も各國の
 例にもれず勞農大衆の生活は極度に窮乏化し殊に農村の衰
 弊困憊は愈々深刻である、働き度共仕事はなく副業収入の途
 は殆んど閉ざされてゐる、殊に今春來の調價安は農民盛^最大の現
 金収入を遮斷した、かてて加へて騙闘、佐賀縣下を始め全九
 州に亘る旱魃被害と九月中旬襲來した未曾有の大暴風の爲め
 本年は大凶作である。數百町の植付不能地、數千町歩に亘る
 收穫皆無地は農民を一層いらだたしめてゐる、農民救済を^加
 板とする政府の米穀統制計畫は地主資本家の爲高米價維持策

たる事は暴露してゐる、農村負債整理の制度にしても借金せ
 め苦にあへく小作人の爲に借金取立猶豫乃至支拂免除をなさ
 しめんとするものでなく之はかへつて債權者の爲め貸金を取
 立しめんとするものである事は明である、政府の農村救済策
 は失敗に歸して居る、旱害地救済對策は何等具體制を持つて
 るない、今農民大衆は政府の諸政策を見破り農民自身の力を
 結集して闘争に立ち上らんとしてゐる、小作米をまける、飯
 米をよこせ、借金税金取立を待て、要求は未組織大衆の間に
 於ても叫ばれてゐる、此の秋に當り過云なき日の貧農小作民
 の先頭に立ち輝しき闘争を緊密にして未組織大衆に叫びかけ
 なから組織の強化と擴大を期し闘争への道を躍進するであら
 う。

右 宣 言 了